



図3 ジャンパー線の扱い方

#### 4.4 データスイッチと発光ダイオードの確認

- (1) データスイッチを OFF(下側)にする。
- (2) ジャンパー線を使って、データスイッチ SW0 と発光ダイオード L0 を接続する (SW0 の接続端子はスイッチの上側に、L0 の接続端子は LED の下側にある)。
- (3) S0 を ON(上側)にして、L0 が点灯することを確認する。
- (4) 上記と同様にして、S1～S7 の操作により L1～L7 が点灯／消灯することをそれぞれ確認する。

#### 4.5 プッシュボタンの確認

- (1) プッシュボタンの上側にある端子と発光ダイオード L0 をジャンパー線で接続する。
- (2) プッシュボタンを押している間だけ L0 が点灯することを確認する。

#### 4.6 クロックパルスの確認

- (1) 周波数切り替えスイッチを 1 Hz(上側)にする。
- (2) ジャンパー線を使って、周波数切り替えスイッチの上側にある端子と発光ダイオード L0 を接続する。
- (3) L0 が定期的に点滅することを確認する。

#### 4.7 ブレッドボードの確認

図4に示すように、論理回路トレーナーのブレッドボードは、ボード A (2個) とボード B に分かれている。

ボード A の各端子 (穴) は内部で横方向に電氣的につながった 2 つのブロックに分かれており、主に電源配線用に使用する。赤い線が付いている方を+電源、青い線が付いている方を-電源 (GND) の配線に使用する。

ボード B の各端子 (穴) は内部で縦方向に電氣的につながった 63×2 のブロックに分かれている。IC や抵抗などの配線に使用する。IC は中央の溝を挟んで上下にピンが出てくるように取り付ける。